



第17回 諫早市PTA研究大会報告

講演 クロフネカンパニー 中村 文昭 氏 「でっかい子育て親育て」より

令和も7年目を迎えました。行き月、逃げ月、去る月の速さに負けないようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、標記研究会の感想をお伝えします。中村さんは年間300回もの講演をされているそうです。心に残ったキーワードがたくさんあります。

① 人間は食べたもので体、聞いたことで心、発する言葉で未来がつくられる

特に、「聞いたことで心がつくられる」というフレーズは何度も繰り返されました。「親がかける言葉が子どもを育てるとしたら、毎日マイナスの言葉をかけ続けられた子と、プラスの言葉をかけ続けられた子、どちらがポジティブな人間に育っていくか、分かりますよね。子どもの話を横取りしたりかぶせたりしないで、いっぱい褒めて聞いてあげてください。投げかけの言葉はプラスの言葉を！」

② 頼まれごとは試されごと～「でも」を「こそ」に

なにか頼まれた時、たいていの人にはできない理由を言って断ろうとします。「でも…だからできない」の「でも」を「…だからこそやってみる」の「こそ」に変えてみましょう、というのです。中村さん自身も人生の師匠に叩き込まれて以来、人生が180度変わったそうです。

③ 未来を広げるためにも多くの人と出会うこと

一番子どもの可能性をつぶしているのは「夢を持つ」と言いながら、「それは無理」と否定する大人たちだと話されました。「否定した大人は、その人自身の生き方しか知らない人です。自分の人生をその一人の言葉であきらめないでほしい。どんな人の言葉が、自分にスイッチを入れるかは分かりません。キミの未来を広げるためにも多くの人と出会うこと!」 その手助けを私たち大人がしていきたいですね。

このような話を軽快な関西弁で語られ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。ご自身の息子さん3人とも中学校を卒業すると同時に、自分の意志で外国含めあちこちに羽ばたいておられるそうです。そのたくましい人間力の源は「毎日お前天才やな!」と言い続けたプラスの言葉です。

また、引きこもりやニートの若者たちに農業研修を通じて「感謝して生きる喜び」「人を喜ばせることこそ人生の喜びであること」を伝えておられます。「もう2度とひきこもる米(まい)」「部屋からなかなか出てコーン」など、自分の過去をネタにできるくらいたくましく変わっていく若者たち…。検索すると出てきますよ。

学校・家庭・地域で関わる私たち大人が、自信をもって「あなたは素晴らしい!」と、どの子にも言い切ることで、安心して生きていくことができることを改めて学びました。益々肯定的な言葉かけを学校でも取り組んでいきます。ご家庭や地域の皆さんもぜひ、肯定的な言葉かけをお願いいたします。

分科会報告

本野小学校と上諫早小学校と、市内でも比較的小さい学校の発表でした。両校とも本校と同じ隣接小規模特認校選択できる学校です。上諫早小全校児童の3割が、校区外から通う児童だそうです。

両校の発表は、諫早市教育委員会生涯学習課 山下参事補の助言の言葉をお借りすると、「地域との連携」「持続可能」という二つのキーワードにまとめることができます。

どちらの学校も会員数が減っていく中で、持続可能な形に行事やイベントをスリム化しつつ、「もっと頼ってほしい」「もっと関わりたい」と考えている地域と連携する必要があるということです。

- 広報誌を印刷業者に頼むのではなく、自分たちでレイアウトしてデータ化発行
- 米作りのすべての過程を保護者でやっていくことをやめ、地域の農家の方に御協力いただく

など、本校と同じような改善が行われていました。今後も、この二つのキーワードを大切に活動していきたいと思います。

今後のイベント情報

- **1月23日(木) 13:30~14:15 百人一首大会**…5色に分けてあり、今回は青色20首に絞っています。子どもたちも覚え始めたばかりです。~~座布団をもってぜひ参加ください。~~ 参観だけでなく、**一緒に参加**される方は、机と椅子を準備しますので、連絡をお願いします。申込は次のリンクからもできます。お電話でもいいです。

<https://forms.gle/MZ1WDgNtcHofAmdN7>



- **同日 14:30~16:00 学校保健委員会の講演会**…長崎大学の岩永竜一郎先生による「子どもの特性を知り、子育てに役立ててみませんか」です。
- **2月21日(金) 授業参観 学級PTA、全体PTA**
- **3月4日** …CS学校運営協議会、6年生を送る会、星空観望会
- **同日観望会前にランチルームで大草塾慰労会(簡単な食事会)を開催予定です。**